

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

『豊かな心を持ち、実践力のある子』を育てる

かしこく（知）・・・よく考え進んで勉強する子 なかよく（徳）・・・明るく思いやりのある子
たくましく（体）・・・気力・体力の充実した子

＜本年度の学力向上策＞

- 1 児童一人ひとりの個性を尊重し「学ぶ・ふれあう楽しさを育む教育」の推進 ※基礎学力と学習意欲の向上
 - (1) 「自ら課題を見出し、関わり合いの中で考えを深め、豊かに表現できる児童の育成」を主題に、「さいたま市教育委員会委嘱研究指定校」（平成29～31年度）として、社会に開かれた教育課程の推進を図り、教育課程や指導方法の工夫等について研究を重ねる。
 - (2) 小学校における一部教科担任制を実施、指導体制等の工夫改善等、児童の興味・関心を高める授業を実践する。
 - (3) 多様なゲストティーチャーや地域講師等、外部の教育力の積極的な導入を図る。
 - ・室町文化体験(6年)、福祉体験(4年)、昔の道具体験(3年)、昔の遊び体験(1年)、各学習ボランティア等
 - (4) 少人数指導や習熟度別指導により、個に応じた指導の充実を図る。
 - (5) GS科の充実を図る。(GS公開週間の実施、月・木曜日朝のGSタイムの新設)
- 2 「豊かな心を育む教育」の推進 ※学力向上の土壌づくり
 - (1) 目的意識をもった体験的な活動を通して、達成感や充実感を味わわせる。
 - ・学校、学年行事を通してやる気・笑顔・汗っばいの元気な辻っ子の育成を図る。
 - ・資源回収、空き缶回収、エコキャップ回収等を通してボランティア・福祉教育の推進を図る。
 - (2) 「特別の教科 道徳」の確実な実施と教育活動全体での道徳教育の推進。
 - (3) 基本的な生活習慣の確立の推進。
 - ・時間を守る（予鈴行動）、挨拶、返事、丁寧な言葉遣い、清掃、廊下歩行(走らない)等。
 - ・心を潤す4つの言葉等、進んで挨拶ができ、しっかり返事ができる児童の育成。
 - (4) 学び舎としての落ち着きと教育環境の整備。
 - ・花と緑につつまれた潤いのある学校
 - ・子どもの活動の様子や作品にあふれ、歌声が響く学校
 - ・整理整頓され、清掃がいきとどいている学校（てきぱき もくもく すみずみ びかびか）
 - (5) 読書活動の充実を図る。
 - ・本の読み聞かせ（図書ボランティアによる） ・読破賞（100冊以上読破した児童へ校長から表彰）

＜本年度の振り返り＞

- 本年度も地域講師等招聘計画をもとに年間を通し、各学年での学習活動において、ゲストティーチャーや地域講師に来ていただき、外部の教育力との連携のもと児童の思考力・判断力・表現力を高める取り組みを行うことができた。学校評価において「開かれた・信頼される学校づくり」「学ぶ・ふれあう楽しさをはぐくむ教育」「豊かな心をはぐくむ教育」等の項目は、昨年度から5ポイント以上増の高評価となった。地域との深いつながりは、本校の特色である。今後もこれを生かした学習活動を進め、児童の主体的・対話的で深い学びを育んでいきたい。
- 読書活動の充実を図るため、図書ボランティアによる本の読み聞かせを年間30回以上行った。読破賞（100冊以上読破した児童への校長からの表彰）の受賞者は200名を超え、読まれた本は合計で2万冊を超えた。児童の文章を読むことに対する関心も高まってきており、今後「書くこと」「読むこと」の学力向上へつなげていく土壌づくりとすることができた。
- 平成29年度より「さいたま市教育委員会委嘱 研究指定校」（平成29～31年度）として、社会に開かれた教育課程の推進を図り、教育課程や指導方法の工夫等についての研究に取り組んでいる。その中で、「学びを他の学びへ広げる工夫」として、児童が学んだことをその教科、その学習で終えることなく学校生活や日常生活での様々な場面で活用していくための指導や支援について、さらに研修を深めていく。